

HAYDN<sup>HM.</sup>  
MARATHON 33

日本センチュリー交響楽団

# ハイドン マラソン

ハイドンの全交響曲を演奏・CD化するプロジェクト

ハイドンマラソン新シーズン3回目  
ゴールまであと2年!



©s.yamamoto

Norichika Iimori, Conductor

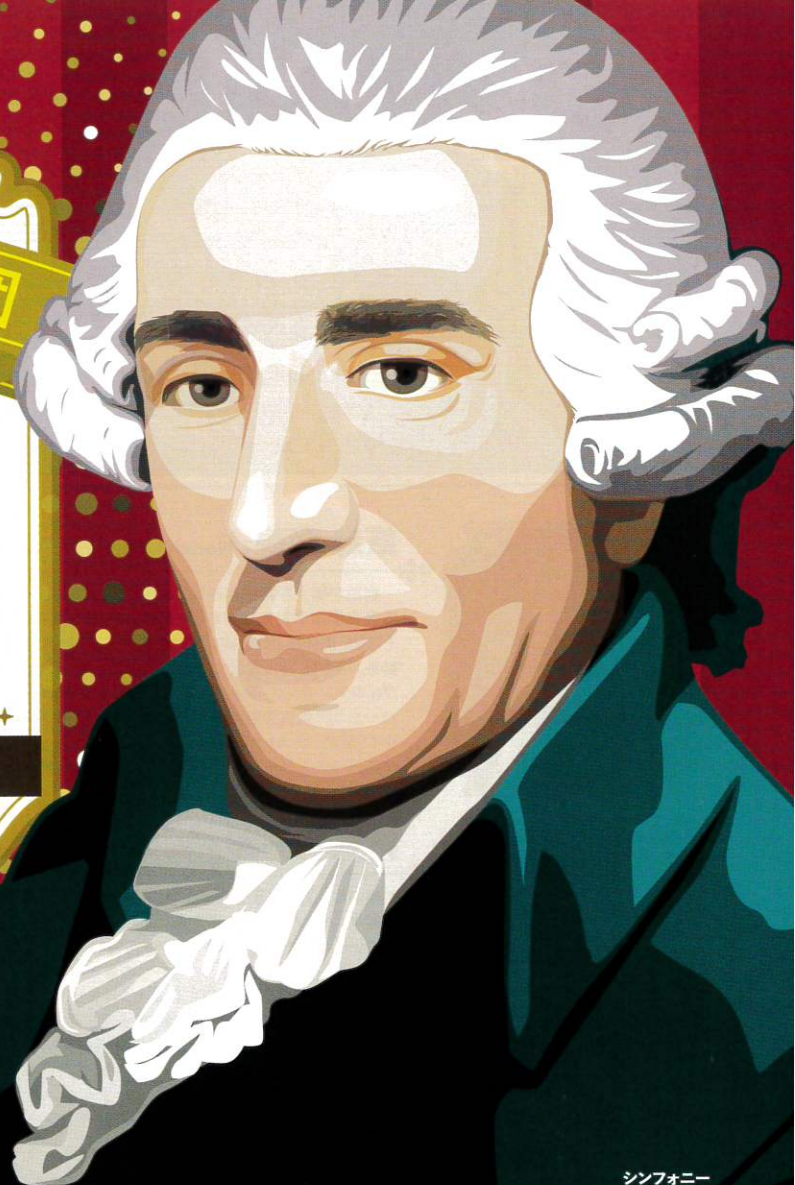
指揮 飯森 範親

©s.yamamoto

Shuichiro Mochimaru, Basset-horn

バセットホルン 持丸 秀一郎

日本センチュリー交響楽団 首席クラリネット奏者



シンフォニー

「ラ・ロクスラーヌ」とロンドン・セットの交響曲  
ハイドンと同時代に生きた  
シュターミッツのバセットホルン協奏曲

ハイドン

交響曲 第63番 ハ長調 Hob.I:63 「ラ・ロクスラーヌ」

J. Haydn: Symphony No. 63 in C major, Hob. I: 63, "La Roxelane"

シュターミッツ

バセットホルン協奏曲 変ロ長調

C. Stamitz: Concerto for Basset-horn and Orchestra in B-flat major

ハイドン

交響曲 第98番 変ロ長調 Hob.I:98

J. Haydn: Symphony No. 98 in B-flat major, Hob. I: 98

2023. **12.14 日** 19:00開演 (18:00開場) **ザ・シンフォニーホール**

7/7  
リニューアル

A席 5,000円 / B席 4,000円

一般発売日 2023年 8月7日(月)

ご予約・  
お問合せ

▶ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 (平日10:00-18:00)

ご予約

▶ ザ・シンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (11:00-16:00 火曜休) <https://eplus.jp/> ▶ e+(イープラス) <https://www.jcso.or.jp/ticket/> ▶ センチュリー・ネットチケット(24時間)



※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者・  
曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

主催:公益財団法人日本センチュリー交響楽団 協力:ザ・シンフォニーホール 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 大阪市助成

スペシャル  
スポンサー 地主株式会社  
JINUSHI Co., Ltd.

スペシャル  
スポンサー 旭酒造株式会社

フレンドシップ  
パートナー GAMBBA  
OSAKA

オフィシャルスポンサー 栄光ホールディングス株式会社 / MKBOW-T / 株式会社エムズ住建設

ONKYO / kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / The Symphony Hall

新コスモス電機株式会社 / TCG 高松コンストラクショングループ / S Shadow / TAKUMA

TOYO TIRES / 日本ペイントホールディングス / Hankyu / THE HILTON PLAZA

Phoxter / 三井住友信託銀行

日本センチュリー

検索

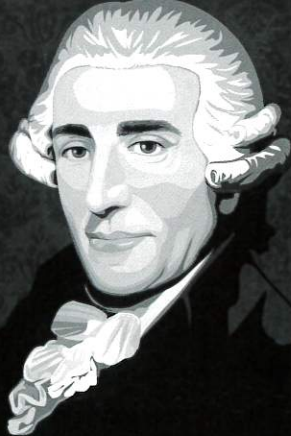


# ハイドンマラソン

## HAYDN<sup>HM</sup> MARATHON 33

飯森範親マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む、ハイドン全104曲の交響曲を演奏、CD化する一大プロジェクト＝ハイドンマラソン。ハイドンのシンプルながら奥深い楽曲を、これまで磨き上げてきたセンチュリーの珠玉のアンサンブルが美しく会場を満たします。

交響曲 第63番の「ラ・ロクスラーヌ」という愛称は、美しい第2楽章が由来となっていて喜劇『ソリマン2世、あるいは3人のスルタン』(ハイドンが劇随音楽を作曲した)に登場するヒロインの名前からつけられたそうです。交響曲 第98番はハイドンがロンドン訪問中に作曲した、いわゆる「ロンドン・セット」といわれる作品群のひとつ。初演から大好評を博したというハイドンの円熟味と充実の音楽を感じられることでしょう。そして注目はハイドンと同時代に活躍したシュターミッツのバセットホルン協奏曲。当団首席クラリネット奏者の持丸秀一郎がソロを務めます。深く温かい音色のバセットホルンを協奏曲で聴ける希少な機会、ぜひお聴き逃しなく!



### 飯森 範親 Norichika Iimori / Conductor (日本センチュリー交響楽団 首席指揮者)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係が続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハムなどに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、バンフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いづみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



### 持丸 秀一郎(バセットホルン) Shuichiro Mochimaru / Bassett-horn (日本センチュリー交響楽団 首席クラリネット奏者)

横浜市出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了。在学中、福井直秋記念奨学金持生。ハンガリー政府国費留学生としてハンガリー国立リスト音楽院へ留学。ハンガリー文化庁主催による王宮での室内楽公演、《ブダペストの春》国際音楽祭に出演。第12回日本木管コンクール入賞。第3回イタリア・カルリーノ国際クラリネットコンクール優勝。(社)日本演奏連盟のオーディションに合格し東京文化会館にてリサイタル開催。クラリネットを三界秀実、K.ベルケシュ、I.マリ、Z.サトマリの各氏に、室内楽を山本正治、J.ヤンドー、M.ペレーニ、F.ラドシュの各氏に師事。

リスト音楽院修了と同時に日本センチュリー交響楽団に首席クラリネット奏者として入団。ソリストとしても兵庫芸術文化センター管弦楽団、日本センチュリー響定期演奏会に出演するなど共演を重ね、2018年には日本センチュリー響と共演した『モーツァルト:クラリネット協奏曲』がNHK-FMにより収録、全国放送された。2020年NHK-FM『リサイタル・パッシオ』出演。

第27回日本クラリネットフェスティバル、第18回高知クラリネットフェスティバルにはメインゲストとして招致される他、東京・横浜・大阪・兵庫・奈良・滋賀など各地でリサイタルを開催。コンクールの審査員や音楽誌への寄稿も行っている。

現在、日本センチュリー交響楽団首席クラリネット奏者、日本クラリネット協会理事、大阪音楽大学クラリネット科・室内楽科講師、相愛大学クラリネット科講師。



### 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた大阪府・豊中市を拠点とするオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。

オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。 オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>

～ハイドンの幕間に～

### シュターミッツ バセットホルン協奏曲

バセットホルンはクラリネットの仲間、モーツァルトが寵愛した楽器として音楽史に名を残し、『魔笛』や『レクイエム』ではその美しくもほの哀しい音色を聴く事ができます。しかしその希少性から初期ロマン派以降100年近く忘れ去られてしまいました。「バセット」は「低い」という意味で低音域が拡張された事を示し、また初期の楽器には大きな金属製のベルが後ろ向きに付いていた事もあり「ホルン」という名前がつけられました。ハイドン・モーツァルトと同世代のシュターミッツは、クラリネット協奏曲を10曲以上書いており、同属のバセットホルンにも精通し、その音色と音域の広さを駆使した見事な作品を残してくれました。古典的な様式美と広い音域を駆使した超絶技巧、そして音色を生かした哀愁漂う旋律。バセットホルンの魅力の詰まった協奏曲、ご期待ください。

2023

HM.31  
5/18

HM.32

8/4

HM.33

12/14

2024

HM.34  
3/1

HM.35

HM.36

HM.37

GOAL!

HM.38

### ハイドン交響曲集CD 最新版[Vol.21] 8/23発売!

### 飯森範親と日本センチュリー交響楽団 好評発売中

### 「ハイドンマラソン」のライブ収録盤 Vol.1～Vol.20

レコード芸術特選盤に複数選ばれるなど高い評価を受けています。精緻で透明感溢れるセンチュリーの極上のサウンドをご自宅でも是非お楽しみください。センチュリー主催公演会場ほかインターネットでお買い求めいただけます。



### ハイドン大学

### ハイドンマラソン関連企画

今年度から、より多くの皆様にご覧いただくため、楽団の公式YouTubeチャンネルで開校しています。飯森マエストロの解説を中心に、ソリストの出演など、毎回好評をいただいております。公演の事前学習や復習にぜひお楽しみください。

※講座情報は決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。

